



ジも設けております。

Q：— 今年のメインは…。

A：— 今年は、3部構成ということにしてあるんですが、鈴木静一さん編曲のアルジェリア組曲とか、現代曲で大栗裕さんのパーレスク、藤掛廣幸さんの山河緑照などをやることにしています。また、ポピュラーステージも設けます。

<練習場について>

Q：— こちらの練習場は、駅からも近いし、広くてすばらしいですが、固定的に使えるんですか。

A：— そうですね、一応は抽選という形にはなっているんですが、当クラブはこの公民館の登録団体になっていて、優先的には使わせてもらえるんです。ここか、または朝霞市にある公民館にも拠点をおいております。

<このクラブが目指すところ>

Q：— 最後に、当クラブは特にこれが売り、ということがありましたら。

A：— 当クラブはコンクール受賞者とか輝かしい経歴を持っている人はおりません。また専門家に指導していただくこともしておりません。もちろん音楽性は大事ですが、せっかくの趣味の集まりですので、人との「絆」や「和」そして「一体感」を重視し、総合力でよい演奏ができることを目指しております。

クラブカラーは、例えば「オリジナルを弾きつめる！」みたいな明確なポリシーはなく、オリジナル・クラシック・ポピュラーなど何でもありで、そういういみでは主張がないのかもしれませんが、なんでもチャレンジしてやろうという伝統はあります。

<あとがき>

というわけで、お相手して下さった皆さん方は印象的には非常に控えめで、どちらかといえば穏やかなクラブのお見受けいたしました。しかし練習を拝聴しておりますと、そんな風にはまるで思えないような勢いとか激しさもあって、そのどちらが本当の姿なのかは、今度の定演を拝聴するまでは、お預けにいたしたいと思いながら辞去いたしました。

(さいとう ふさこ：JMU関東支部長、とみた ひろし：JMUジャーナル編集長)